



令和2年第4回岩沼市議会定例会が6月9日に開会し、初日に菊地市長が市政の概要を報告しましたので、主なものを掲載します。

新型コロナウイルス感染症対策

はじめに、感染防止対策について、県内の感染者数は、6月8日現在88人で4月29日以降新たな感染者は発生していません。

緊急事態宣言が5月25日に全ての都道府県で解除されたものの、感染の第2波に備えていく必要があるとされています。感染症対策は息の長い取り組みになるものと考えられることから、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が提言する「新しい生活様式」を実践していただくなど、市民の皆さんには、引き続き感染拡大防止へのご理解、ご協力をお願いしていきます。

次に経済対策ですが、特別定額給付金については、5月11日に約1万8000世帯に申請書を発送し、同日から、オンライン申請の受け付けも開始しました。6月5日現在で、1万7059世帯分の申請書を受領し、1万5782世帯3万9569人分、87%の給付手続きを完了しています。

感染症拡大防止協力金について

は、5月11日に申請受付を開始し、6月5日現在で、203件の申請があり、書類審査を終えたものについては、5月22日から順次振り込みを行っています。

また、市の独自支援策の1つである事業継続応援給付金については、協力金と同日に申請受付を開始し、6月5日現在で313件の申請を受け、こちらも5月22日から順次振り込みを行っています。

今後も速やかに給付を続けていきます。

次に、「いわぬま飲食店割増商品券」については、市商工会、観光物産協会、飲食店組合および寿司組合と連携し、5月24日に市内3カ所で開催したところ、直ちに完売しました。外出自粛により低迷している市内飲食店への支援につながるものと考えていますが、販売当日は、広範囲に渋滞を生じさせ、また、想定を上回る来場者があったことから、多数の方々が入りできない状況になりました。これを真摯に反省し、今後の活性化策にいかしていきます。

また、感染防止対策の影響で収入が相当程度減少した方に対しては、市税の徴収猶予、国民健康保険税や介護保険料等の減免等を実施するほか、児童手当受給者に対する臨時特

別給付金の支給など、生活に対する支援を行っていきます。

次に、児童・生徒の教育などについてですが、3月2日からの市内小中学校の臨時休業は、感染拡大防止のため延期を繰り返してきましたが、6月1日に感染防止対策を徹底した上で授業を再開しています。

学校の臨時休業期間中は、課題を返信用封筒によって各学校に返送する双方方向のやりとりや、学習内容の解説などを伝える「エフエムいわぬまラジオ学校」の開設、各学校の実状に応じた分散登校の実施など、学校再開に向けたさまざまな取り組みが行われてきました。

これらの取り組みによって、臨時休業中の児童生徒の負担を少しでも和らげることができたものと考えています。

なお、学校夏休みは、8月8日から19日までの12日間とし、学校行事の見直しなどと合わせて学習時間の確保を図っていきます。

国民健康保険における傷病手当金

給与などの支払いを受けている国民健康保険被保険者が、新型コロナウイルス感染症に感染または感染の疑いにより就労できず、給与などの支払いを受けることができなかった期間について傷病手当金を支給する

ため、本定例会に関係議案を提出しています。

台風19号への対応など

稲わらの災害廃棄物については、岩手県大船渡市と栃木県佐野市のセメント工場でセメント資源化を、また、巨理名取共立衛生処理組合で焼却処理を進めており、5月31日現在で、約560トンの処理が終了しています。

また、農業用施設等被害については、農地や農業用施設災害で291件、山地被害で6件の被災箇所を確認しています。このうち、小規模な278カ所の復旧工事は6月末までには完了する見込みであり、また、国の災害査定に該当する大規模な復旧工事となる農地や農業用施設災害13カ所、山地災害6カ所については、今年度中の完成を見込んでいます。

なお、市管理の志賀沢川の復旧については、8月の完成を目指します。

いわぬま市民夏まつりの中止

いわぬま市民夏まつりについては、8月22日に開催を予定していましたが、市民まつり運営委員会において協議した結果、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度の開催は中止することになりました。

5/29



▼手植えで丁寧に苗を植える子どもたち



晴天下での体験

〜田植え体験教室〜

玉浦小学校に隣接する田んぼで、地域の方の協力の下、「田植え体験教室」が行われ、5年生81人が参加しました。水田に入ると足が抜けなくなったり、転んで泥だらけになったりする児童もいましたが、初めての手植えを一つ一つ丁寧に作業する様子が見られました。

参加した児童は「最初はぬるぬるして気持ち悪かったけど、だんだん慣れてきて最後の方はすごく楽しかった」「初めて田んぼに入った。ひんやりして気持ちよかった」「秋にする収穫も楽しみ」と話していました。

6/1



▼クラスごとに行われました(西小)



▶新たな学校生活へと踏み出しました(西中)

待ち望んだ学校生活

〜市内で入学式〜

市内小・中学校で、例年より2カ月遅れの入学式が行われました。

岩沼西小学校(尾形浩明校長)では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、教室ごとに初めてリモート形式での入学式が行われました。175人の新1年生が教室のモニターに映し出された校長先生の話を真剣に聞く様子が見られました。

岩沼西中学校(狩野浩二校長)では体育館を会場に、178人の新入生が真新しい制服に身を包んで入場しました。残念ながら2、3年生の出席は叶いませんでしたが、心を込めて会場作りに励んでくれたそうです。

6/5



▲「信号が青になっても、道路を渡るときは気を付けて」と呼びかけていました

ルールを守るとかっこいい

〜交通安全教室〜

ほのぼの保育園で、年中・年長児を対象とした「交通安全教室」が開かれました。毎年、市内各所で実施されているこの教室ですが、今回は「破牙神ライザール」を招いて行われました。NPO法人HEROが企画運営し、子ども向けにさまざまな活動を行っています。

さっそくと登場したヒーローを前に、子どもたちは大興奮。司会者が出す交通ルールの問題に元氣よく答えていました。また、ヒーローに自分たちもかっこいい姿を見せようと、張り切って模擬横断歩道を渡るなど、みんなで交通ルールを学びました。

6/8



▼みずみずしく、とてもいい香りが広がります



▲出荷を待つメロン

愛情を込めた幻のメロン

〜相野釜ハウス園芸組合のメロン収穫〜

市内の林地区にある相野釜ハウス園芸組合で、幻のメロンと呼ばれているクールボジャメロンが収穫されました。

とても香りの良いメロンで、前年から注文の予約をしている方もいるそうです。生産者が少なく、ほとんど市場に出回らないこともあり、贈り物として北海道から九州まで全国に出荷されているとのことでした。穴戸繁組合長は「今年は天候にも恵まれて、糖度の高いものができたと話されました。」